

作成	建設局下水道河川部	資料
提出	平成22年 7月21日	下-2

雨水流出抑制指導要綱の 策定について

平成22年度市営企業調査審議会
第1回下水道部会

平成22年7月21日（水）
札幌市建設局下水道河川部下水道計画課

0

審議会への報告の経緯

第1回 (H21. 7) 制度の背景と概要



第2回 (H21. 11) 検討内容の経過報告



第3回 (H22. 7) 大規模施設に対する取り組み



市民や企業への公表・事前周知等



平成23年度 運用開始予定

1

基本方針

協働による雨水流出抑制

基本方針①

雨に強いまちづくり

基本方針②

水とみどりのうるおい
あるまちづくり

現状の課題

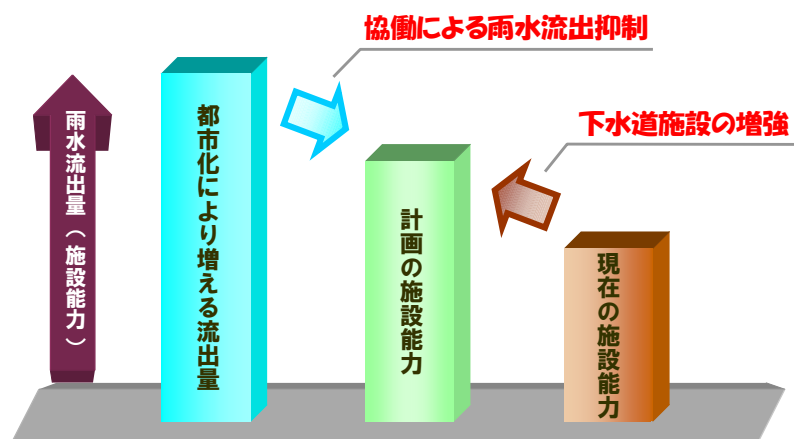
舗装面等の増加による流出係数の増加

局所的な集中豪雨の増加

地下水位の低下など（環境面）

2

協働による雨水流出抑制のイメージ



3

対策の方針

対策①

大規模施設の雨水流出抑制

周辺の地域に浸水を引き起こすおそれが高い大規模な施設の流出量を抑制し、雨に強いまちづくりを目指す。

対策②

雨水浸透の促進

まち全体で雨水浸透を推進し、雨に強く、水と緑のうまいまちづくりを目指す。

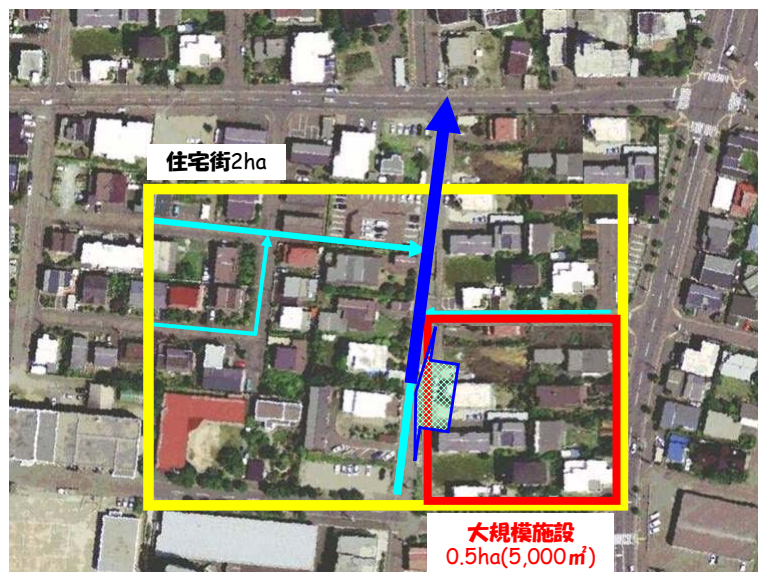


要綱を策定し、大規模施設の設置者に雨水流出抑制の対策を求める。

大規模とは・・・？ 必要な対策量は・・・？

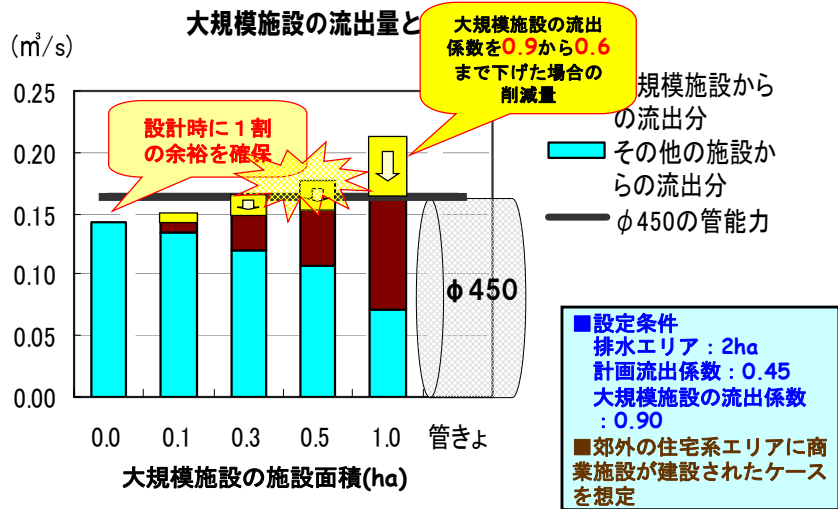
4

大規模施設のイメージ



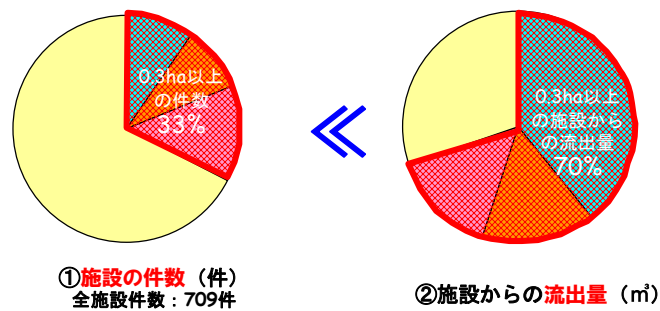
5

対象施設の検討①



6

対象施設の検討②



7

要綱の概要

目的 … まちを浸水から守り、**市民の安全で安心な生活を確保**すること

対象行為 … 以下のすべてに該当する場合

- ① 下水道に雨水を排除する場合
- ② **敷地面積が3000㎡(0.3ha)以上**の施設の場合
- ③ 工事後の**流出係数が0.6**を越える場合

対策量 … **流出係数0.6**を越える流出量分

必要な手続き … 以下の書類を提出してもらう。

- ① 工事前に「**施設計画書**」
- ② 工事完了後に「**完了報告書**」

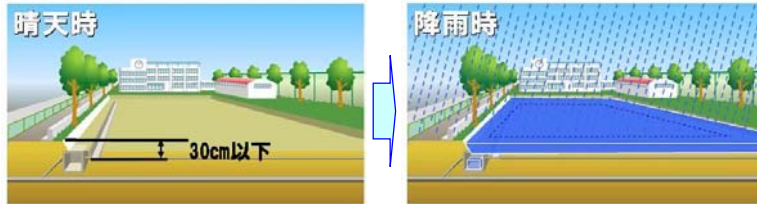
8

対策のイメージ【駐車場】



9

学校や公園での対策例



10

緑化は、都市に緑が増え美しい街並みにもなるよ。



小さなことでも、みんなで取り組み、雨に強いまちづくりができるよ。僕たちのまちを浸水から守ろう。



各家庭では

屋根に降った雨を敷地内に浸透

雨水貯留
雨水を貯留して散水などに利用できます。

家の周りを緑化

駐車場では

雨水浸透ます

貯留施設

雨水流出抑制のイメージ図

11